

東京ベイ eSG プロジェクト国際発信実行委員会
第4回総会（書面開催）

令和5年5月1日（月）

議事次第

審議事項

（議案1）基本計画の変更について

東京ベイeSGプロジェクトに係る国際発信イベント 基本計画ver2.0（案）概要

令和5年5月 日

/ 目次

- 01 基本方針**
 - 02 全体概要**
 - 03 有明アリーナ**
 - 04 日本科学未来館**
 - 05 シティドレッシング**
 - 06 シンボルプロムナード公園**
 - 07 周辺連携施策**
 - 08 輸送計画**
 - 09 先端技術実装フィールドプログラム**
 - 10 広報計画**
 - 11 制作物計画**
 - 12 協賛計画**
-

/01 基本方針



未来を、にぎる。

職人の技術を通じて旬の素材をひとつの文化へと昇華させてきた“鮨”を再解釈「High Technology」を活用して「Sustainability(持続可能な新しい価値)」を生み出し、東京から世界に発信する取組の共通コンセプト

スタートアップ国際イベント

持続可能な都市の実現に向けた、
スタートアップとのオープンイノベーション

【ビジネス向け】

- ・企業向けの展示及び商談交流の開催
- ・起業家等有識者の講演、セッション

海外都市首長級会議

世界の共通課題の解決に向けて、
都市間で多角的に議論をする場

【行政向け】

- ・首長級（行政）の会合による国際的発信

東京ベイeSGプロジェクト 国際発信イベント

50年・100年先を見据えた
持続可能な「未来のまち」の実装・発信

【ビジネス/一般向け】

- ・臨海部のまち全体で未来を体感、楽しみながら持続可能な未来を考えるきっかけを創出
- ・「食」を中心ににぎわいを創出し、国内外からの来場を呼びかける

左記2つのイベント・会議と連携し、
SusHi Tech Tokyoのもとシームレスな行き来が可能
(ベイエリアで開催される民間等イベントとの連携も行う)

／ 実行委員会における主な意見

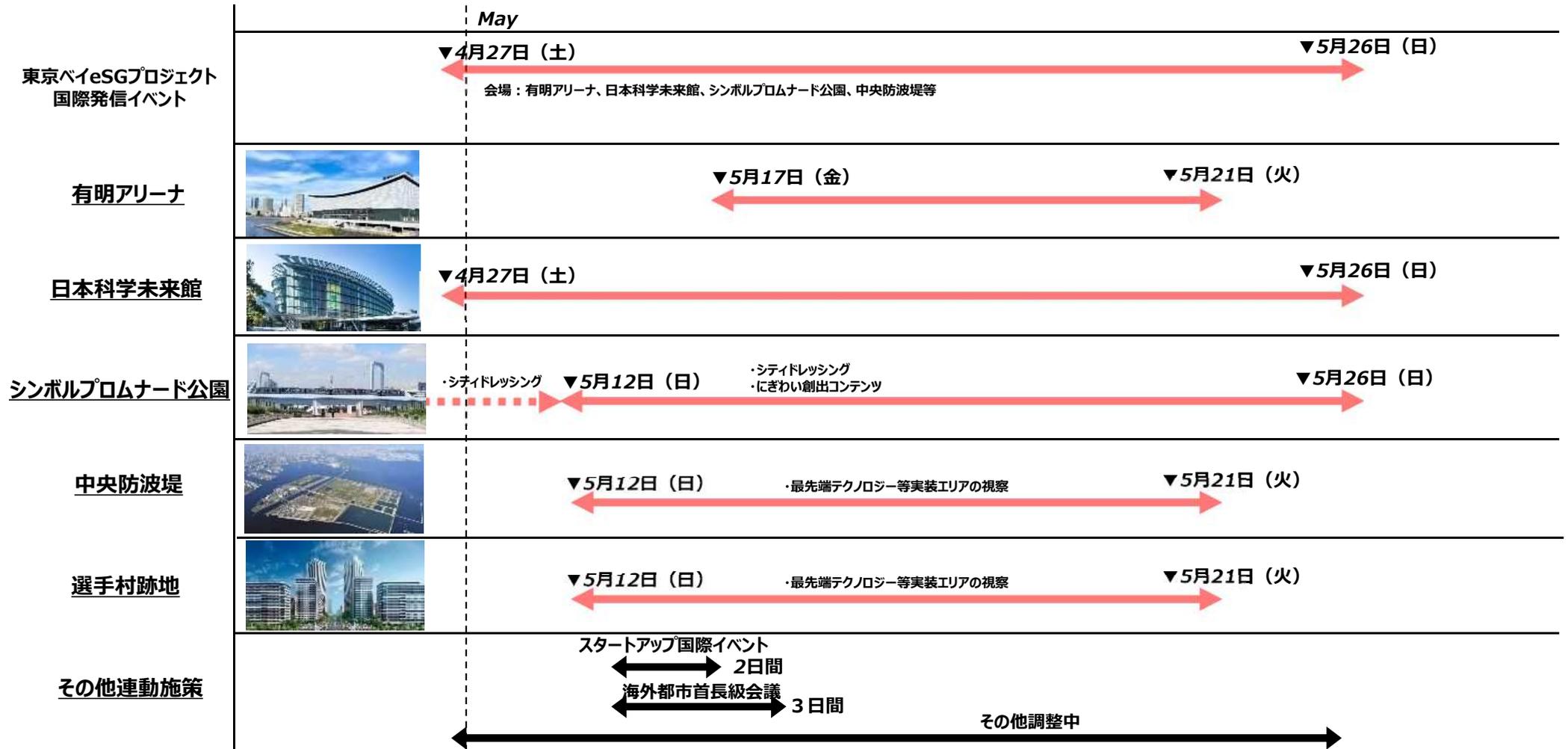
- ・江戸時代は100万人の人口を有しながら、カーボン・オフセットでサステナブルな社会を実現していたように、「食」を上位概念（OS）としてモビリティやエンターテインメント的な要素等を**取り込んでいく**ことは、「テクノロジーとフード」をテーマとした本事業においては 東京の“勝ち筋”を見出すために重要な側面の一つである。
 - ・本事業の主題は「サステナビリティ」であり、その中において技術そのものをみせる場所であるべきではなく、**一般都民の視点で「未来の東京がどうなっていくか」が提示されているイベント**であるべき。
 - ・テクノロジーは人のためにあるものであり、本事業においても2050年の理想像を一方的に伝えるのではなく、**都民を巻き込み、街ぐるみで盛り上がるような仕掛けが必要**。
 - ・「海外都市首長級会議」および「スタートアップ国際イベント」でビジネス来場者と政府関係者をカバーする意味では、本事業では**To C（一般）が主たるターゲット**となるべきであり、ベイエリアにおける賑わいをいかに生み出せるかが重要である。
 - ・課題国だからこそ、それを打ち破るのが世界のモデルになっていく。ルールメイキングが可能になる所以だと思う。
だからこそ、ざっくりとした何かこういうのがしたいといった未来ではなく、**課題国だからこそその解決策を示してリーダーになるという見せ方があると思う**。
-

各種施策における基本的なターゲットの整理

名称	コンテンツ案	会期	目的	To C	To B	To G
有明アリーナ	展示等の 体験型イベント	2024/5/17~5/21	2050年の未来の 東京を体現化する	◎	○	○
	ステージプログラム 講演、セッション		持続可能な未来の 都市モデルの発信・連携	○	◎	◎
日本科学未来館	展示体験イベント等	2024/4/27~5/26	持続可能な未来を 楽しく学ぶ	◎	△	△
シンボルプロムナード 公園	シティドレッシングや 賑わい創出に資する 屋外コンテンツ等	2024/5/12~5/26	街全体の賑わい創出 ホスピタリティ演出	◎	○	○
周辺連携施策	イベントプラットフォーム 等	2024/4/中旬~5/26	ベイエリア内の回遊促進	◎	○	○
先端技術実装フィールド 中央防波堤 選手村跡地	実装フィールドのPR 等	2024/5/12~5/21	先行プロジェクトや 水素社会のPR	◎	◎	◎
海外都市首長級会議		2024/5		—	△	◎
スタートアップ国際イベント		2024/5		△	◎	○

/02 全体概要

実施スケジュール



実行委員会開催スケジュール

	2022 (R4) 年度：イベント企画骨子作成	2023 (R5) 年度：製作&運営管理	2024 (R6) 年度：実施&報告
総会	<p>10/18 第1回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R4予算案 ・R4事業計画案 ・R4協定書 ・事務局企画案 ・検討会 <p>2/17 第2回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本計画案 ・R5予算案 ・R5事業計画案 ・規約等 	<p>春頃</p> <p>夏頃～秋</p> <p>2/下旬</p>	<p>★開催★</p> <p>4/月上旬</p> <p>6/下旬</p> <p>12/下旬</p>
検討会・勉強会	<p>11/8 勉強会</p> <p>11/16 第1回 検討会</p> <p>12/8 第2回 検討会</p> <p>12/12 第3回 検討会</p> <p>1/17 第4回 検討会</p>	<p>6月～ 検討会</p>	
東京都	 <p>未来を、にぎる。 SusHi Tech TOKYO Shaping our Tomorrow</p>	<p>(2月) スタートアップ国際イベント (2月) 海外都市首長級会議</p>	<p>(5月) スタートアップ国際イベント (5月) 海外都市首長級会議</p>
<p>SusHi Tech TOKYO 情報共有及び連携調整</p> 			

/03 有明アリーナ

概要

- **会場** 有明アリーナ 全館（東京都江東区有明1丁目11番1号）
 - **期間** 2024年5月17日（金）～5月21日（火）
 - **開催時間** 検討中
 - **ターゲット** エキシビジョン … ビジネス、海外要人、一般
ステージプログラム … ビジネス、海外要人を中心に、一般来場者にも分かりやすい内容を目指す
 - **目的** 没入感のある映像や未来の生活を体験できる展示などにより、eSGプロジェクトが発信するサステナブルな未来の都市モデルを様々な来場者層に訴求する。持続可能な未来を創り出すために、国内外の最先端技術を活用した体験型展示企画を通じて、現在の課題や解決策などを楽しく、おいしく知るとともに、一人ひとりの気づきや行動変容につながることを目的とする。
-

全体 | 体験の流れ (例)

- ・国内に拠点を持つ企業の技術を活用し、持続可能な社会が実現した「2050年の東京」を体感。
- ・例えば、未来のとある1日の中で、さまざまな場面を体感し、持続可能な都市モデルへの具体的なイメージを深める。
- ・単なる技術展示会ではなく、東京が発信する未来の都市モデルを体感できるコンテンツとする。来場者に未来を考える余白を残した展示となるよう、アーティストやクリエイターのアイデアを取り入れた意匠、見せ方とする。
- ・来場者には、東京の魅力、可能性を体現した持続可能なフード、ドリンクを楽しんでもらいながら、展示やステージプログラムに参加してもらう。



※アリーナ内のエリア分け（HOUSE等）は例示。来場者に「2050年の東京」にいると感じられるしかけとしてnarrativeな要素と世界観を演出。



ホワイエ（イントロダクション）

- 【概要】** 未来の東京のビジョンを没入感のある映像で体感
- 【目的】** 通路を大型スクリーンや曲面ディスプレイで埋め尽くすなどし、本プロジェクトのテーマである「『自然』と『便利』が融合した持続可能な都市」のインパクトや、来場者のマインドセットを目的とし、未来への導入にふさわしい没入感のある演出とする。

体験の流れ

①ホワイエ

②1Fアリーナ

③サブアリーナ

④屋外
(有明親水海浜公園を含む)

- ・1Fアリーナでは、未来のとある1日のさまざまな場면을体験してもらうため、**国内に拠点を持つ企業およびスタートアップ等の技術を活用。**
- ・各種展示は、企業からの技術提供に基づくことを基本とし、偏りが出ないように展示物は複数社の技術で構成することとする。
- ・来場者には、東京の魅力、可能性を体現したサステナブルなフード、ドリンクを楽しんでもらいながら、展示やステージプログラムに参加してもらう。

有明アリーナ | 1F

起床～準備 (HOUSE)

【例】「自宅環境」に近い未来のテクノロジーの体感展示

農業 (FARM)

【例】世界に誇る日本の各種フードテックの展示

学校・仕事 (OFFICE)

【例】「オフィス空間」に近い未来のテクノロジーの体感展示

モビリティ (ROAD)

【例】「ZEV」など未来のモビリティの体験展示

買い物場 (ARCADE)

【例】「買い物環境」に近い未来のテクノロジーの体感展示

ステージプログラム

サードプレイス (PARK)

【例】「公園」など公共空間でのテクノロジー体験展示

参加型プログラム

体験の流れ

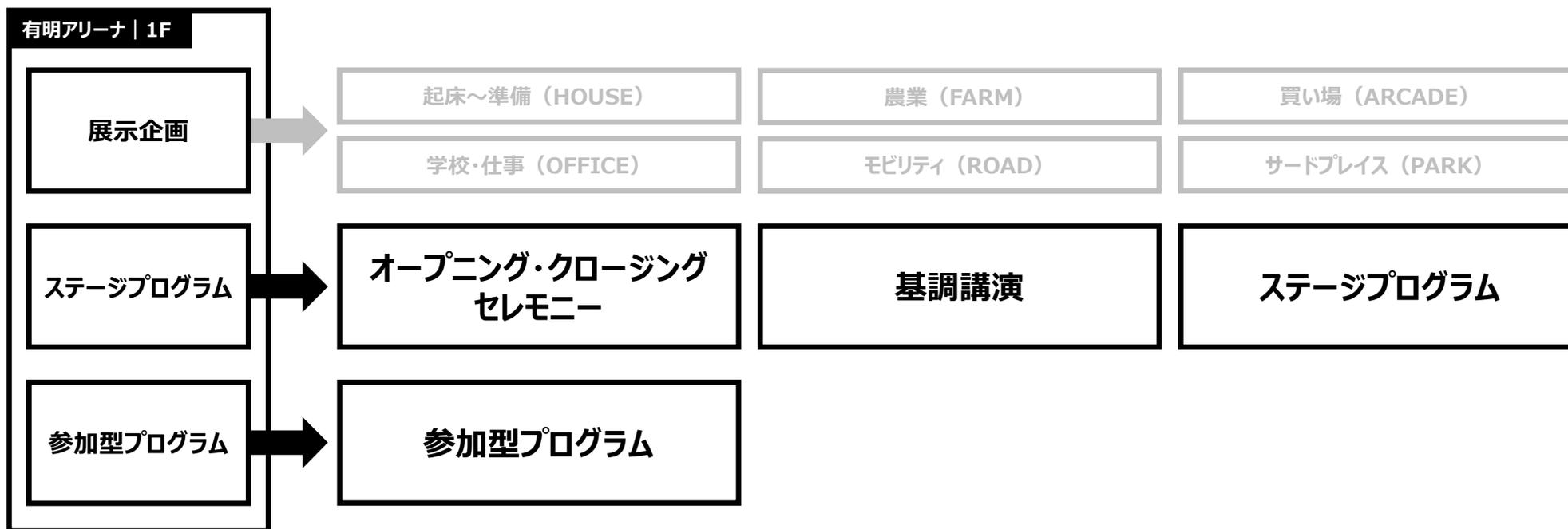
①ホワイエ

②1Fアリーナ

③サブアリーナ

④屋外
(有明親水海浜公園を含む)

- ・SusHi Tech Tokyo Weeks 全体と連携しながら、主要なプログラムは初日に設定し、海外都市首長級会議及びスタートアップ国際イベント参加者を誘引。
- ・次世代へ夢のある未来をつなぐことを主目的に、エキシビジョン会場に設えるステージを活用し、来場者が楽しく参加できる体験型のプログラムを用意。
- ・あわせて、ベイエリア全体をサステナブルを学べる、体感できる会場として最大限活用し、来場者の行動変容を促す契機とする。



オープニングセレモニー

- 【日程】 会期初日
- 【目的】 会の始まりを告げる場所として、持続可能な未来の都市として“東京モデル”を広く伝えていく場を目指す。
- 【概要】 プログラムを一つのエンターテイメントとして捉え、誰もが受け入れやすい“ショーアップ”されたオープニングレセプションを実施。海外都市首長級会議、スタートアップ国際イベントの来場者の誘引も視野に入れたコンテンツとする。ビジネスや専門メディアだけではなく、一般メディアでのパブリシティの獲得につながる内容を目指す。

体験の流れ

基調講演

- 【日程】 会期初日
- 【目的】 持続可能な都市の実現に向けた展望を告げる場所として、官民学／世界との強固な連携の姿勢を広く伝えていく場所を目指す。
- 【プログラム例】
- ・国内トップ企業代表者／ビジネスリーダーから持続可能な都市の実現によって、どのような未来／暮らしが実現されるのかの展望を語る。
 - ・北欧など環境先進国から要人を招き、持続可能都市の実現に向けた今後の連携について発信いただく。 など

①ホワイエ

②1Fアリーナ

③サブアリーナ

④屋外
(有明親水海浜公園を含む)

ステージプログラム

- 【目的】** 国内外企業／研究機関等が傍聴する場として、サステナビリティの観点から最先端技術／事例を紹介し合う場を提供し、現状の課題及びその解決策について共有し合う。
- 【概要】** 登壇者にはサステナビリティの観点から最先端技術や事例を紹介し合う場（パネルディスカッション）を提供し、現状の課題及びその解決策についてオーディエンスと共有する。
オーディエンスには、国内外企業、研究機関、スタートアップだけでなく、子供若者やアクティビストにも参加してもらい、質問や対話を通じて新たな知見、ビジネスチャンスのシーズを生み出す場とする。
週末の来場者の多くは都民であることを考慮し、未来を共に考え、行動変容につながるよう、身近でありながら先進的なサステナビリティ活動を展開する方を登壇者に招聘する。

参加型プログラム

【目的】 広く都民／一般来場者にサステナブルな都市の自分ゴト化を促すべく、わかりやすさ／盛り上がりを重視したプログラムを目指す。

【概要】 本プロジェクトのテーマである『『自然』と『便利』が融合した持続可能な都市』のジブンゴト化を図る、参加型のプログラムを実施。

- ・温室効果ガスの排出要因の一つである「食」について、フードロス対策、フードテックなどサステナブルな取組、一人一人の行動変容につながる、サステナブルな取組に関する講演、ウェルフォードの体験会などを実施。
- ・子供・若者が主体的に未来にコミットする姿を世界に発信するため、国内外に訴求力のある団体と連携したプログラムを実施。
- ・SDGsに取り組むアクティビストや慈善活動に取り組むアーティストによる講演やショーを実施。
- ・e S Gプロジェクトで目指すサーキュラー社会の実現に取り組む自治体・コミュニティの活動を紹介（パネルディスカッション、ワークショップ）

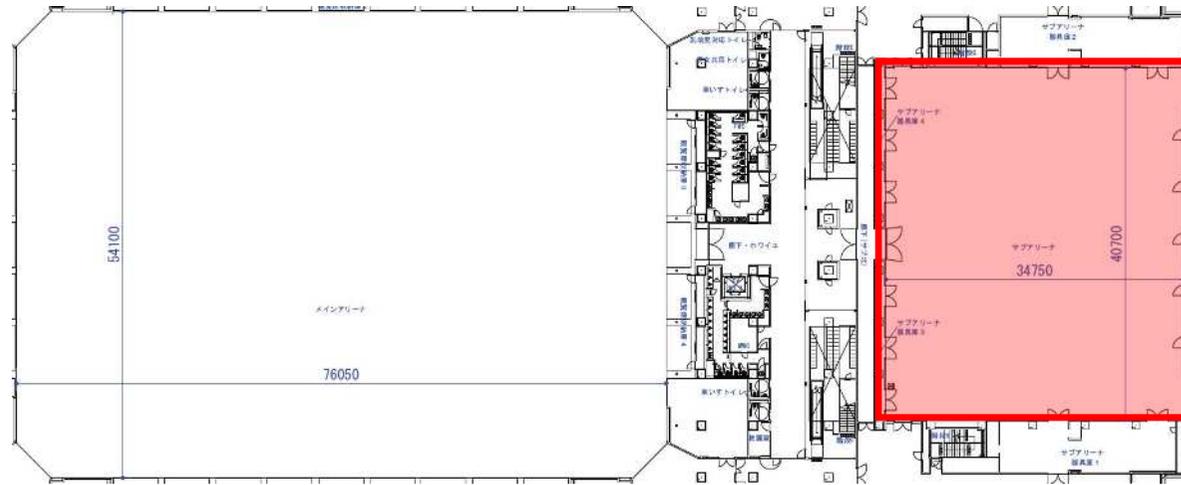


④屋外
(有明親水海浜公園を含む)

サブアリーナ

【概要】

サブアリーナは、関係者向け及びビジネス目的来場者向けのラウンジ等のスペースとして活用を想定。
持続可能な都市づくりに向け、利用者間の交流・ビジネスミートアップを図るスペースとして有効活用を行う。





屋外（有明親水海浜公園を含む）：新しい食の体験

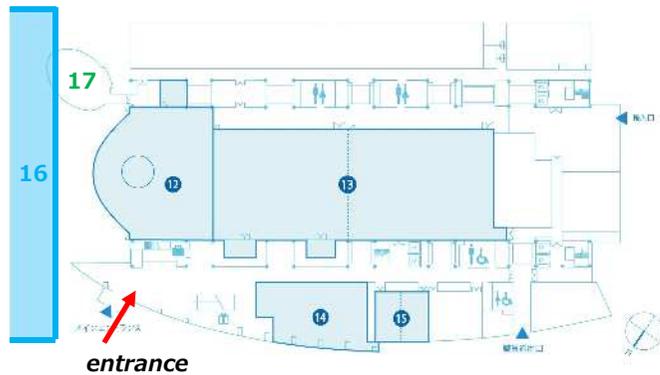
- 【目的】 広く都民／一般来場者／来街者に向けサステナブルフードを提供し、身近な「食」の体験を通じて、持続可能な未来のジブンゴト化を目指す。
- 【概要】 サステナブルなフードを取り扱うフードイベントを実施。
アリーナ北側の水辺空間を生かし、飲食施設でサステナブルフードを知って、楽しんでもらう機会を提供（例：国内に限らず、サステナブル先進国のオーガニック食品やサステナブルな食材を提供）

/04 日本科学未来館

概要

- **会場** 日本科学未来館 全館（主に1階及び7階）
 - **期間** 2024年4月27日（土）～5月26日（日） ※閉館日を除く
 - **ターゲット** 一般 ※未来を担っていく子供達にもわかりやすいコンテンツとする
 - **目的** 有明アリーナ会場で示すサステナブルな未来だけではなく、私たち一人ひとりが、サステナブルな未来を作っていくために、何をしていくべきなのかを考えるきっかけを与えるような体験型の展示を提供する。
 - **方針** ①一人ひとりが東京の未来にワクワクを感じてもらい、②サステナブルな未来に必要な課題を理解し、③私生活の中でアクションを起こすきっかけをつくりだす。
-

会場計画 | 基本使用スペース



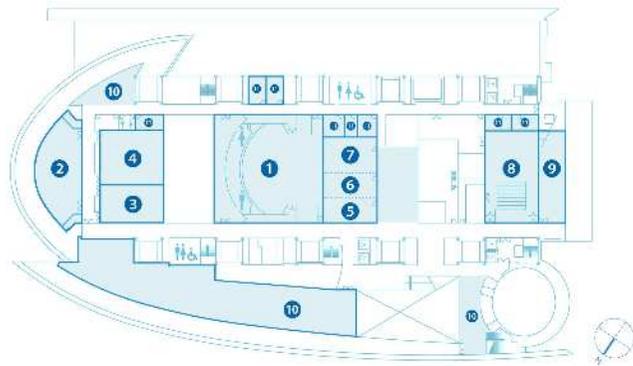
1F

シンボルゾーン・企画展示スペースab・コミュニケーションロビー・多目的スペース・隣接するシンボルプロムナード公園の一部



※青枠で囲っているエリアを基本計画として利用を検討しているスペースとする。

※17のエリアは企画に応じて追加利用可能（要調整）



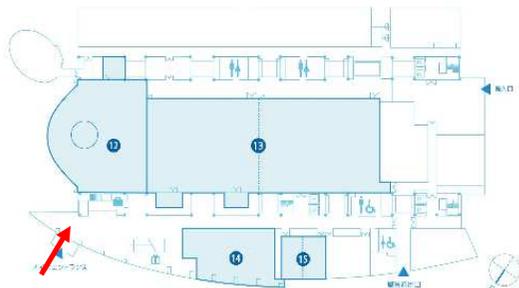
7F

未来館ホール・イノベーションホール・その他会議室・レストラン



会場計画 | 基本会場利用計画

1F



entrance

シンボルゾーン・企画展示スペースab・コミュニケーションロビー

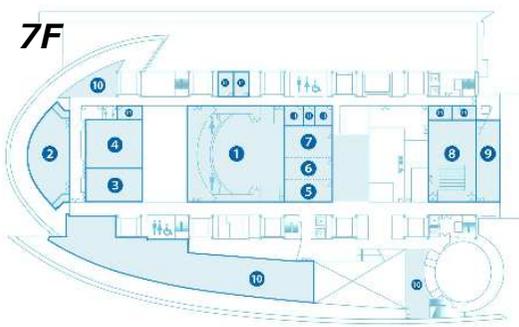


「Food」と「Tech」のテーマに沿って**持続可能な未来を実現するためのヒント・アクションを楽しく学べるコンテンツ**を展開。

シンボルゾーンをエントランスに、企画展示室の中をコンテンツを体験しながら巡る。
コミュニケーションロビーは、隣接するシンボルプロムナード公園で稼働するモビリティなどの屋外展示の説明ブースや、子供・若者向けに先端技術や環境課題について気付きを与えるようなステージコンテンツ会場として利用。

コミュニケーションロビーに多くの方を誘引するコンテンツとして、サーキュラー社会の実現に取り組むコミュニティによるパネルディスカッション、ワークショップを開催

7F



未来館ホール・イノベーションホール・その他会議室



ステージコンテンツやセミナーなどは**ファミリー層や学校単位での参加者向けに**、最先端技術や再生可能エネルギー等を題材にしたコンテンツとする。

海外都市首長級会議、スタートアップ国際イベント会期中は、それぞれのイベントのターゲット層向けのコンテンツを提案。

レストラン



レストランでは、生活者だけでなく、世界や社会によって善いといわれる**ウェルフード**（フェアトレード食品）や、**プラントベースミート**、**昆虫食**など、食の新しい選択肢に繋がる、バリエーションに富んだフードも提供する**飲食可能なフードエリア**として開放。

/05 シティドレッシング

概要

1 方針 イベント会場周辺の来場者や関係者が利用する陸路、海路、空路を統一的なデザインのフラッグやバナー等で効果的に装飾することで、イベントの認知と開催気運の醸成を図るとともに、開催都市としてのプレゼンスを国内外に印象付ける。

2 テーマ イベントの共通コンセプトである「SusHi Tech Tokyo」に沿って、シティドレッシングの取り組み自体にも可能な限り「サステナブル」や「先進デジタル技術」の要素を付加していくなどSDGsの観点を盛り込むものとする。



3 実施期間 2024年4月中旬～5月26日

<空路>

● 空港

・羽田空港 第一／第二／国際線ターミナル→各到着ロビー等を装飾

<陸路>

● 幹線道路

・「有明通り」「環状二号線」「都道484号」「都道482号」等

→街路灯フラッグ／道路沿いの柵へバナー掲出／橋脚シート貼り

● 鉄道・バス

・ゆりかもめ「有明テニスの森駅」「市場前駅」「新豊洲駅」「豊洲駅」「有明駅」「台場駅」

「東京国際クルーズターミナル駅」「テレコムセンター駅」「青海駅」「東京ビッグサイト駅」

・りんかい線「国際展示場駅」「東京テレポート駅」

・都営バス ・空港リムジンバス→駅構内外、バス車体を装飾

● ラストマイル（最寄駅から会場までの徒歩ルート）

・各会場への導線

→街路灯フラッグ／道路沿いの柵へバナー掲出／橋脚シート貼り／配電用地上機器ラッピング／トラスタワー設置等

<海路>

● 水上バス・船着場・海上

・有明アリーナ船着場→水上バスや船着場を装飾

掲出例



/06 シンボルプロムナード公園

シンボルプロムナード公園においては、以下のプログラムで賑わい創出に寄与する。

**賑わい創出に資する
屋外コンテンツ等**

シティドレッシング

賑わい創出に資する屋外コンテンツ等 概要

屋外コンテンツ等

シティドレッシング

- 1 実施期間** 2024年5月12日～5月26日
- 2 実施目的** シンボルプロムナード公園を起点に、臨海部全体の“街の賑わい”を創出する。
- 3 実施場所** シンボルプロムナード公園全域（※民間等が主催するイベントとの連携を調整）
- 4 実施内容** 賑わい創出に資する、**フードやエンターテイメント、テクノロジー**を活用した屋外コンテンツ
広大なスペースの周遊性を向上するため、マイクロモビリティなど移動手段を充実

1 方針 イベント会場周辺の来場者や関係者が利用するエリアを統一的なデザインのフラッグやバナー等で効果的に装飾することで、**イベントの認知と開催気運の醸成を図るとともに、開催都市としてのプレゼンスを国内外に印象付ける。**

2 テーマ イベントの共通コンセプトである「SusHi Tech Tokyo」に沿って、シティドレッシングの取り組み自体にも可能な限り「サステナブル」や「先進デジタル技術」の要素を付加していくなどSDGsの観点を盛り込むものとする。



3 実施期間 2024年4月中旬～ 5月26日

シンボルプロムナード公園の掲出例



- ・装飾箇所：街路灯等
- ・サイズ：H1,500mm×W750mm（目安）

- ・装飾方法：フラッグ掲出 or 立て看板掲出
- ・規模：約150～200枚・両面印刷（目安）

/07 周边連携施策

概要

■ **目的** : バイエリア（イベント会場間）の**周遊促進**

■ **コンテンツ概要** : 東京ベイeSGプロジェクト国際発信イベントに会場されるお客様の移動、コンテンツ参加をスムーズにすることを目的としたプラットフォームを開発。
さらにスタンプラリー機能など彼らの周遊モチベーションを醸成する機能を盛り込むことを必須とする。

▼搭載必須機能

- ①トップページ ②スケジュール機能 ③コンテンツ予約機能（輸送予約・体験コンテンツ等） ④マップ機能（ナビ機能）
- ⑤マイページ（マイページ内で予約状況や付与されたポイントなどを管理できるものとする）
- ⑥周遊促進機能 ⑦プログラムオンライン視聴機能

■ **期間** : 2024年4月下旬～5月26日

■ **連動施設/エリア** : 有明アリーナ、日本科学未来館、シンボルプロムナード公園、中央防波堤埋立地、東京ビッグサイト
選手村跡地、豊洲エリア、その他連携イベント開催エリア



08 輸送計画

概要

- **期間** : 2024年4月下旬～5月26日
 - **連動施設/エリア** : 有明アリーナや日本科学未来館、シンボルプロムナード公園などイベント会場間の移動
 - **利用料金** : アプリ登録者は無料で利用可能
 - **モビリティ** : ①燃料電池バス ②水素やバイオ燃料を活用した船 ③個人利用向け電動モビリティ 等
-

会場シャトルバス運行計画 (例)



- ①有明アリーナ ←
- ▼
- ②日本科学未来館
- ▼
- ③東京ビッグサイト駅
- ▼
- ④有明駅
- ▼
- ⑤有明テニスの森駅
- ▼
- ⑥市場前駅

シャトル船運行計画 (例)



乗り場案

①【日の出桟橋営業所】

JR 浜松町駅：徒歩8分

②【お台場営業所】

ゆりかもめ 台場駅・お台場海浜公園駅：徒歩5分

りんかい線 東京テレポート駅：徒歩7分

③【有明アリーナ】

ゆりかもめ有明テニスの森駅：徒歩10分

/

/09 先端技術実装フィールドプログラム

概要

- 目的** : 最先端技術の実装フィールドのPR
- 会場** : 先行プロジェクト実施エリア（中央防波堤）、選手村跡地
- 参加対象者** : 各国要人、ビジネス関係者、一般
- 概要** : 要調整



/10 広報計画

概要

目的 本イベントのゴールである「サステナブルといえば東京」が国際的にも認知され、世界各都市との連携によるムーブメントを東京が牽引していく。

内容

- ・メディア問合せ広報事務局の設置
- ・メディア発表会
- ・プレスリリースの配信
- ・PRイベント実施／情報発信
- ・本番へのメディア誘致活動／メディア対応
- ・OOHの展開
- ・その他効果的な広報活動

PRで目指すゴール

『自然』と『便利』が融合する、持続可能な都市をいち早く具現化し、未来の都市モデルを広く世界に発信する



「サステナブルといえば東京」が認知され、世界各都市との連携によるムーブメントを東京が牽引していく

PR活動のポイント例

- ・国内・海外に向けて『自然』『便利』をキーワードに、未来の東京への期待感と実現イメージを醸成させる情報発信を行う
- ・定期的な情報発信により会期までの盛り上げを行うことで、本番時の話題を最大化する
- ・サステナブルの世界最先端を訴求するコンテンツを的確に発信。国内・海外のメディア・インフルエンサーを通じた情報発信をフル活用

広報業務の目的と基本計画

広報活動期間：2023年6月から2024年9月まで（予定）

メディア問合せ広報事務局の設置

■メディアからの問合せを集約し、一元管理する

プレスリリースの配信

■発信内容およびタイミングを協議しながら作成・配信を行う

メディア発表会の実施／情報発信

■本番前にメディアの取材・露出を通じて話題化・期待感醸成

本番へのメディア誘致活動／メディア対応

■一番の山場となる、本番へのメディア誘致・取材／撮影対応

オウンドメディアの立ち上げ／運営

■各種情報の集約拠点。①技術出展社 ②一般向け ③メディア向けそれぞれに対応

メディア・SNSアカウント立ち上げ・運用

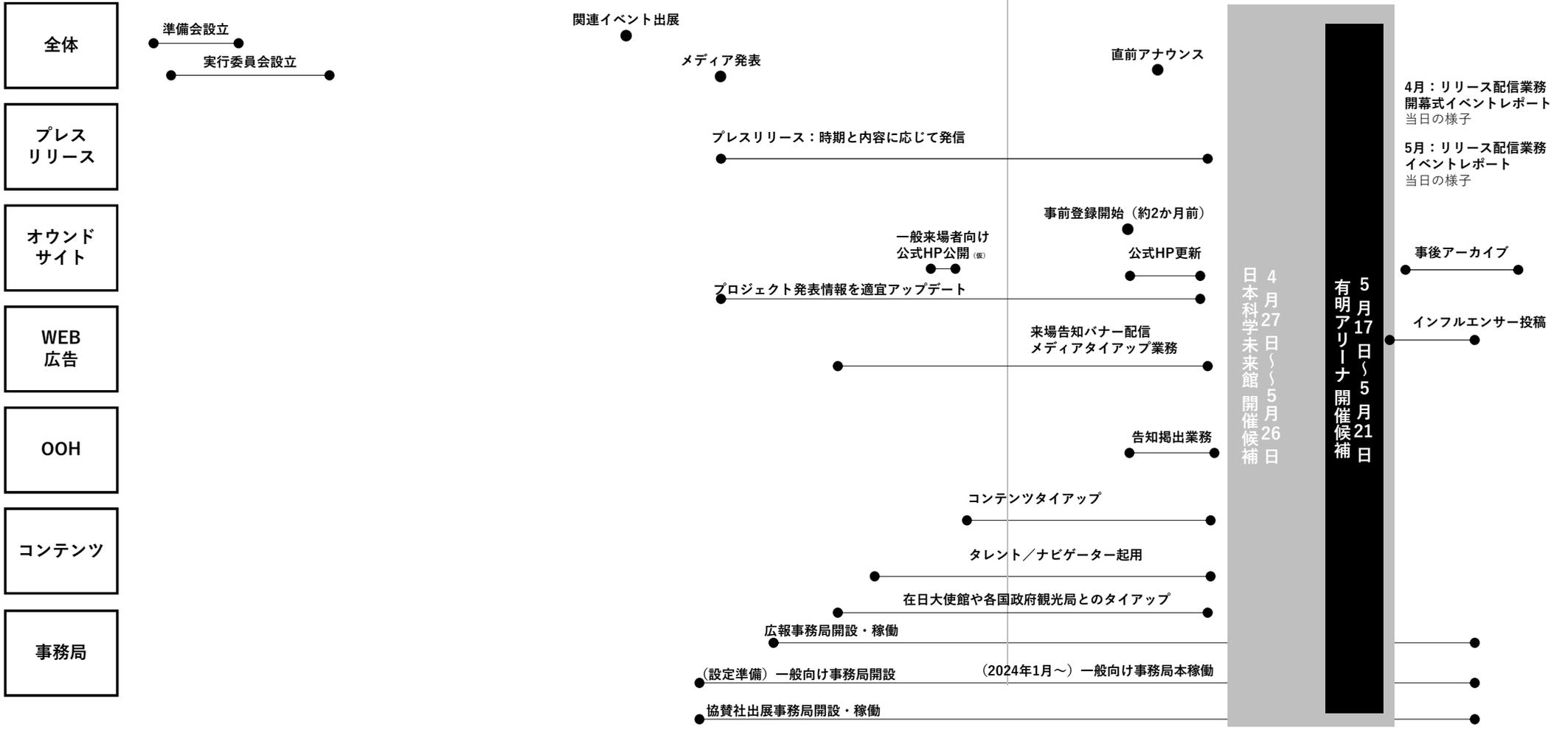
■メディアでは情報接点が作れない人との接点づくり。および都民の声を集めるための情報発信

OOHの展開

■国内外からの来場者の移動動線を鑑みた告知

広報業務の全体推進スケジュール

2022/9 2022/11 2023/1 2023/4 2023/5 2023/7 2023/9 2023/11 2024/1 2024/3 2024/5 2024/7 2024/9



広報ターゲット（下図再掲）

名称	施策案	会期	目的	To C	To B	To G
有明アリーナ	展示等の 体験型イベント	2024/5/17～5/21	2050年の未来の 東京を体現化する	◎	○	○
	ステージプログラム 講演、セッション		持続可能な未来の 都市モデルの発信・連携	○	◎	◎
日本科学未来館	展示体験イベント等	2024/4/27～5/26	持続可能な未来を 楽しく学ぶ	◎	△	△
シンボルプロムナード 公園	シティドレッシングや 賑わい創出に資する 屋外コンテンツ等	2024/5/12～5/26	街全体の賑わい創出 ホスピタリティ演出	◎	○	○
周辺連携施策	イベントプラットフォーム 等	2024/4/中旬～5/26	ベイエリア内の回遊促進	◎	○	○
先端技術実装フィールド 中央防波堤 選手村跡地	実装フィールドのPR 等	2024/5/12～5/21	先行プロジェクトや 水素社会のPR	◎	◎	◎
海外都市首長級会議		2024/5		—	△	◎
スタートアップ国際イベント		2024/5		△	◎	○

/1 1 制作物計画

概要

制作物の一例

- ・パンフレット
- ・イベントオリジナルグッズ
- ・スタンプラリーツール及び周遊インセンティブ
- ・スタッフコスチューム
- ・IDパス など

目的

- ・来場者への配布を通じ、イベントの趣旨を周知する
 - ・デジタル媒体をメインとしつつ、紙媒体も活用する
 - ・イベントの開催概要及び会期等の情報を告知する
 - ・ベイエリアの回遊性を高める
 - ・イベント参加を通じ思い出作りに寄与する
-

/12 協賛計画

協賛の基本計画

技術パートナー

▼協賛内容

有明アリーナのイベントにおいて、各種体験展示への技術提供を行う。

▼選定条件

『自然』と『便利』が融合した持続可能な未来の都市の実現に資する技術、およびその技術を有する企業であること。

▼協賛メニュー案

- ・各種イベントへのスポンサード（協賛金提供）
- ・各種展示物への技術提供

▼その他備考

有明アリーナイベントの「HOUSE、OFFICE、ARCADE、PARK、FARM、ROAD」等のカテゴリにおいて、複数社の技術で各エリアを構成すること。

協賛パートナー

▼協賛内容

各種イベントへのスポンサード（協賛金提供）を行う。

▼選定条件

本事業が目指すゴール/ビジョンに賛同を行っているだけの企業であること

▼協賛メニュー案

- ・各種イベントへのスポンサード（協賛金提供）

フードパートナー

▼協賛内容

各イベント会場における食のコンテンツを提供する。

▼選定条件

本事業の主目的に則り、「サステナブル」なフード及びテクノロジーを有する企業であること。

▼協賛メニュー案

- ・各種イベントへの食コンテンツ提供